

しまだ議会だより

Shimada City Council Newsletter

2025
No. 98

令和7年8月8日発行

島田市議会の新たなページがここから始まる。

改選特集

20人、1461日間の決意に迫る！

新人議員インタビュー ～新たな挑戦～

日間の決意 to four years ~

会は新たな4年間に向けて歩み

難に直面しています。経済の停滞
社会構造の変化により、その舵取
ながら、我々はこの困難な時代に
日々奮闘しています。もがきなが
めに尽力する決意を新たにして

ため、全力で取り組んでまいりま

島田市議会議員一同

議員選挙

票 投票率：58.40% 候補者数：23人



石川 晋太郎議員



井上 篤議員



大石 歩真議員



大関 衣世議員



瀧 好伸議員



仲田 明議員



松本 晃議員



横田川 真人議員



横山 香理議員



四ツ谷 恵議員

20人の1461

～ The journey

令和7年5月29日、島田市議
始めました。

現在、地方都市はかつてない困
や人口減少、少子超高齢化などの
りは容易ではありません。しかし
あっても、未来への希望を信じ、
らも前進を続け、市民の皆様のた
います。

誇り高き島田市の明日を築く
す。

令和7年5月25日執行 島田市議会
有権者数：78,165人 投票数：45,647



青山 真虎議員



天野 弘議員



岩崎 好美議員



内田 修議員



川合 利也議員



清水 唯史議員



曽根 達裕議員



三村 隆久議員



望月 史彦議員



八木 伸雄議員

新しい議会構成が決まりました

令和7年6月定例会において、新しい議会構成が決定しました。

6月定例会で 議長 清水唯史、副議長 大関衣世 を選出！



**議会全体がワンチームとなり、
市民の立場で議会運営を
目指します**

議長 清水 唯史

議長に就任いたしました清水唯史です。
最多期数であることから議会全体をまとめていく重責を感じています。初当選の議員も期数を重ねた議員も議会基本条例の理念に基づく開かれた議会の運営のために、それぞれが自覚を持って活動できるよう取り組んでまいります。

議員それぞれが収集した市民の声を議会全体で共有することで議会の活動が充実し、提言や議員提案の条例制定等につなげることができるものと思います。そのために、議員が積極的に研さんを重ねることによって多くの知識と技術を持った集団となり、新しい島田市の発展のため二元代表制の役割を高めていけるよう尽力します。

また、議会全体がワンチームとなり、納税者たる市民の立場に沿った予算・決算等の審議・審査を充実してまいります。市民の皆様におかれましては、ぜひ、ご意見をお寄せいただきますようお願い申し上げます。



**「チーム議会」を
目指して**

副議長 大関 衣世

この度副議長の大任を拝しました大関衣世です。微力ながら、議長を中心とした「チーム議会」の形成を目指し、議員の皆様と共に取り組んでまいりたいと思います。委員長として参加する「予算・決算特別委員会」については、前年度末の報告を踏襲し、それぞれの分科会で、より深く活発な議論が展開され、的確な審議がなされるよう、各正副分科会長との協議を基にその運営に努めてまいりたいと思います。価値観の多様化が進む昨今は、議員に求められる市民ニーズもさまざまであると実感します。ただ、いつの時代であっても、議員は、市民の代弁者であり、安全・安心で暮らしやすい街を目指し、尽力しゆく役目を市民から負託されていることに違いはありません。一人一人の議員がその役目を全うし、市民の皆様の期待に応える「チーム議会」を目指してまいりたいと思います。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

議長・副議長の選挙結果

6月12日(木)の本会議で議長・副議長の選挙(互選)を実施しました。

議長選挙

副議長選挙

清水 唯史	10票
八木 伸雄	9票
(無効票1票)	
大関 衣世	10票
石川 晋太郎	9票
(無効票1票)	

議長および副議長になろうとする議員の所信表明会を実施しました。

島田市議会では議会改革の一環として、平成28年度から議長・副議長の所信表明を実施しています。今年度は6月5日(休)に議長および副議長になろうとする議員の所信表明会を開催し、計4人の議員が所信表明を行いました。

所信表明者

(議長になろうとする議員)

清水 唯史
八木 伸雄

(副議長になろうとする議員)

石川 晋太郎
大関 衣世

(届出順)

島田市議会議員は、3常任委員会のうちのいずれかに所属し、担当分野を専門的に審査します。

常任委員会の新たな委員を紹介します。なお、議長を除き、委員は、一般会計を審査する予算・決算特別委員会の各分科会の委員も務めます。

総務生活常任委員会

市の戦略などの政策に関すること、行政改革に関すること、市民の生活に関すること、危機管理に関することを審査します。

委員長



よこたがわまさ
横田川真人

副委員長



いのうえ あつし
井上 篤

委員



よこやまかおり
横山香理



かわい としや
川合利也



もちづきふみひこ
望月史彦



しみずただし
清水唯史



まつもと あきら
松本 晃

厚生教育常任委員会

福祉・高齢者・介護・子育て支援や健康に関すること、総合医療センターに関すること、教育に関することを審査します。

委員長



いしかわしん たろう
石川晋太郎

副委員長



よつ や めぐみ
四ツ谷 恵

委員



たき よしのぶ
瀧 好伸



おおかききぬ よ
大関衣世



うちだ おさむ
内田 修



あおやまさとし
青山真虎



いわさきよし み
岩崎好美

経済建設常任委員会

商工や農林業などの産業振興に関すること、観光や文化振興に関すること、都市基盤整備に関することを審査します。

委員長



そ ね たつひろ
曾根達裕

副委員長



あまの ひろし
天野 弘

委員



み むらたかひさ
三村隆久



なかだ あきら
仲田 明



おおいしある ま
大石歩真



やぎ のぶ お
八木伸雄

委員長 井上 篤
副委員長 大石 歩真
委員 八内川 瀧委 大石 歩真
木田合 利好員 眞
伸 修也 伸 眞
雄 修也 伸 眞

広報広聴特別委員会

議会だよりの編集及び広報広聴に関する調査研究を行います。

委員長 大関 衣世
副委員長 天野 弘
委員 議長を除く全議員

予算・決算特別委員会
予算議案および決算議案に関する審査を行うための委員会、次の案件の審査を行います。
・令和6年度島田市一般会計決算
・令和7年度島田市一般会計補正予算案
・令和8年度島田市一般会計予算案など

委員長 天野 弘
副委員長 井上 篤
委員 横山 香理
曾根 達裕
川合 利也
四ツ谷 恵
内田 修

議会運営委員会

市議会を円滑に運営するための委員会で、次の調査・検討を行います。
・議会運営
・議事会規則、委員会条例
・議案の審査
・請願、陳情の審査など

6月定例会 ここがポイント！



議案の
詳細は
こちら

令和7年6月定例会は、6月12日(木)から7月17日(木)までの36日間行いました。提出された議案のうち、主な議案を紹介します。

Pick
up 1

野外活動センター「山の家」の利用料改定！

議案第44号 島田市野外活動センター条例の一部を改正する条例について

全会一致で可決

▶概要

現状の社会情勢に鑑み、持続的かつ安定した施設の利用実態に即したものとするため、指定管理者の更新に合わせ、研修室・浴室・キャンプ場などの利用料の上限を改定する。新料金は令和8年4月1日から施行する。

▶主な改正内容

(円)

利用区分	現行	改定後
寝具利用料（1人1夜）	350	500
浴室利用料（幼児～高校生1人）	150	300
同上（上記以外の者1人）	300	500

利用区分	現行	改定後
研修室利用料（定員24人、全日）	1,860	2,800
和室（大）利用料（定員33人、全日）	3,070	4,700
バーベキュー場・キャンプファイヤー場（各1人）	—	各 200

Q

2年前に利用料金が改定されたが、今回更に改定する理由は。

A

今回は、主に前回改定をしていない研修室・和室ほか利用料・浴室利用料などの附帯設備の利用料を改定する。現状の社会情勢に鑑み、持続的かつ安定した施設の利用実態に即したものとするため、指定管理者の更新に合わせて改定する。

Pick
up 2

消防団配備の消防ポンプ自動車2台更新！

議案第46号 財産の取得について（消防ポンプ自動車）

全会一致で可決

▶概要

島田市消防団第8分団2部および第14分団1部に配備している消防ポンプ自動車各1台（合計2台）を更新するため、指名競争入札を実施した結果、ジーエムいちはら工業株式会社東京営業所より購入する。

▶事業費

5,852万円

▶スケジュール

令和7年4月 入札および仮契約
令和7年7月 本契約および発注
令和8年3月 納車・支払い



Q

消防団に配備している消防ポンプ自動車2台更新とのことだが、退役する2台の処分方法は。

A

落札業者が退役車両を引き取り、廃車手続を実施することになっている。落札業者が入札した価格には、当該引き取り関係の精算金額が反映しているものと理解している。

Pick up 3

小中学校児童生徒用端末機器購入

議案第47号 財産の取得について（小中学校児童生徒用端末）

全会一致で可決

▶概要

令和2年度第1期GIGAスクール構想の下、1人1台端末によるICT環境を整備しデジタル教育を推進してきた。令和7年度・8年度の端末整備・更新計画に基づき児童生徒用端末を取得する。

1. 動産の種別及び数量

小中学校児童生徒用端末 4,674台

2. 購入金額

207,064,743円



Q

第1期では850台を追加購入した。第2期は予備機として何台購入するのか。初期設定や機器代金を考慮すれば、不足した時点で、その都度、購入する方が経費削減になるのではないかな。

A

令和7年度の595台、8年度は434台購入の予定である。県のGIGAスクール構想推進協議会で、大規模に共同調達したほうが安価で購入できる。

Pick up 4

農業生産資材等物価高騰対策

議案第50号 令和7年度島田市一般会計補正予算（第2号）農林業費

全会一致で可決

▶概要

農業生産資材の物価高騰の影響を受けている認定農業者及び、荒茶加工場において重油・ガスを除く生産資材の高騰の影響を受けている荒茶加工事業者への支援に要する経費

1. 農業生産資材等価格高騰対策事業

予算額 20,076,000円

補助対象者 認定農業者

2. 荒茶加工事業者価格高騰対策事業

予算額 21,022,000円

補助対象者 市内荒茶加工事業者

Q

農業生産資材物価高騰対策が認定農業者以外は対象になっていないが問題はないかな。

A

過去の事業では認定農業者で特に問題はない。担い手育成の観点で行っている。

Q

荒茶加工場の物価高騰対策は、茶セーフティネットと重複しないかな。

A

セーフティネットの対象である重油・ガスを除いた電気・荷作り材料などが対象であるため重複はしていない。

提出された議案の数

市長提出議案 30件

予算 2件 条例 3件 報告 12件 その他 4件 人事 9件

議員発議

委員会の設置 2件



ここが知りたい！



一般質問



市の方針や市民の皆さんの生活に関する内容全般についての考えを聞く
一般質問には16人が登壇しました。

一般質問全文を掲載した会議録と録画映像は、ホームページに掲載しています。



目次

小中学校施設	地域の歴史資源	食育は教育だ	初倉小中一貫	総合計画策定中	生命財産を守れ	荒廃森林の整備	サービス残業	稼ぐ観光	部活の地域移行	茶業の振興	第3次総合計画	子育て労働者支援	地域づくり推進	命を守る	公共交通
--------	---------	--------	--------	---------	---------	---------	--------	------	---------	-------	---------	----------	---------	------	------

P13 P13 P13 P12 P12 P12 P11 P11 P11 P10 P10 P10 P9 P9 P9 P8

小中学校施設



教育は国家百年の計。環境整備を怠るな
かれ

いしかわ しん たろう
石川 晋太郎議員が問う

市内小中学校トイレ洋式化率は



【答弁】 小学校76.1%、中学校58.8%

- Q** 市内全校で洋式化率100%を達成するために掛かる工事費は。
- A** 1億6500万円から4億2000万円程度の費用が掛かると考える。
- Q** 今後の見通しを伺う。
- A** 洋式化率が低い小学校から順次進めていく。今年度は、島田第二小学校の整備計画を進めている。
- Q** 一般質問に先立ち、市内小中学校6校の視察を行ったことを踏まえ、普通教室及び特別教室の空調機設置率を伺う。
- A** 普通教室は100%。主な特別教室は理科室10・3%、音楽室96・2%、家庭科室31・8%。
- Q** 今後の見通しを伺う。
- A** 小学校は、来年度以降新たな計画は現時点ではない。中学校については、今年度4校で理科室に設置する。来年度は残りの2校についても、理科室への設置を計画していきたい。

地域の歴史資源



地域の魅力と個性を高めるストーリーを持った歴史資源であり重要な財産だ

曾根 達裕議員が問う 歴史資源を活用した地域振興は



答弁 歴史文化などの地域や観光資源の活用を図る

- Q** 大津地区の歴史資源について、市はどのような評価をしているか。
- A** 縄文から江戸までの幅広い時代の資源があり、重要な財産だ。
- Q** 歴史資源の現状はどうか。
- A** 重要な文化財として保護しつつ公開している場所がある。
- Q** 歴史資源を活用した地域振興は。
- A** 地域団体と協力してハイキングや古墳ツアーを開催していく。
- 市の産業構造の現状**
- Q** 人口減少を克服する施策の一つが企業誘致であるが、市の取組は。
- A** 補助制度を設け、企業が市内に立地する際、補助金を交付している。
- Q** 市内消費の拡大や、市外からの消費流入を促す考えはどうか。
- A** 観光と絡め、市外からの交流客による域内消費獲得のため、市内事業者の動きを支援する。

食育は教育だ



横手市提供イラスト

安全で美味しい学校給食は地域の宝。食材の高騰には保護者負担でなく市の補助を

四ツ谷 恵議員が問う 小中学校の給食の現状と今後は



答弁 地産地消推進とオーガニック食材を推進

- Q** 給食食材の地産地消・オーガニック食材の活用はどのように取り組んでいるか。
- A** 地場産物で条件が整ったものは積極的に推進していく。オーガニック食材も、量や価格など条件がクリアされれば、使用していく。昨年度から給食の一部に有機農法のお茶を取り入れ、今年度からはお米を提供していく予定である。
- Q** 地産地消をさらに進めるために市役所内の連携と地元農家との定期的な話し合いの場があるか。
- A** 学校給食地産地消推進連絡会などを設置し、意見交換を行っている。
- Q** 給食費の無償化及び食材費の高騰対策として一定の期間、財政調整基金を活用するべきではないか。
- A** 財政調整基金は年度間の財政不均衡を調整するものであり、給食費無償化及び高騰対策に使用することは考えていない。

初倉小中一貫



ハード面に関しては現在調整中だが、教育の取組状況も積極的な発信が必要

横山 香理議員が問う 初倉小中一貫教育の取組状況は



答弁 令和15年度の開校を目指し庁内で検討中!

- Q** これまでの経過は。
- A** 令和4年1月の島田市立初倉地区小中学校再編方針検討委員会提言書において、施設一体型小中一貫校として再編する方針案が示され、この方針案に沿って現在庁内での検討を進めている。
- Q** 今後の施設の見通しはどうか。
- A** 課題への対応や関係者との調整次第だが、当面は令和15年度の開校を目指している。
- Q** 小中一貫教育を意識した現在の取組と今後の取組はどうか。
- A** 3校で身に付けたい資質・能力など共通した目標を持って実践している。学校運営協議会も合同で実施しており継続的に行っていく。
- Q** 今後のハード面の動きに対して、市民への発信の仕方を懸念しているがいかがか。
- A** 細かい配慮をしながら動いていきたいと思っている。

総合計画策定中



これからの8年の方向性を決める総合計画。多くの市民の皆様の声をください

よこたがわまさと
横田川 真人議員が問う
第3次総合計画の方向性は



答弁 第2次総合計画と基本的には変わらない

- Q** 策定中の第3次島田市総合計画の基本的な考え方はいかがか。
- A** これまでの取組の成果や課題、また、本市を取り巻く社会情勢などを踏まえ、持続可能なまちづくり及び人口減少・少子超高齢社会への対応と課題の克服という2つの基本的な考え方と、8年間の計画期間にとどまらない長期的な視点を持って策定作業を進めている。
- Q** 策定中の総合計画内の基本構想はどのようなものか。
- A** 継続性を持った基礎的な考え方を示す基本理念や、総合計画の実行によって目指す将来像、このほか、土地利用の方向及び政策分野を位置づけている。なお、未来につながる3大戦略、循環型社会、縮充、DXについては、将来像の実現に向けた指針として位置づけている。

生命財産を守れ



治水は政治の一丁目一番地

あおやま まさとら
青山 真虎議員が問う
水害をしっかりと治めてほしい



答弁 軽減に向けて対応していく

- Q** 水害について天王町、坂本、川根などで対策が進んでいるが、南原は床上浸水被害が多い。軽減対策を。
- A** 貯留施設など、総合的な対応について検討していく。
- Q** 落合、野田、道悦、東町の局地的な水害対策を行う予定は。
- A** 自治会から要望、通報があれば対策する。
- Q** リニア工事で水が減ったら国やJRに永久に補償を約束させる、そのタイミングではないのか。
- A** 知事は補償について文書として担保とする考えだ。
- Q** バスが減って皆さん本当に困っている。住民主体の移動支援に補助があることを伝えているか。
- A** 細かくは説明していない。
- Q** 子供のクールバンドは、学校に冷凍庫がないと下校時に使えない。藤枝や焼津のように導入は。
- A** 設置にはいろいろと課題が多い。

荒廃森林の整備



森林環境譲与税を活用し、森林経営管理制度に基づく荒廃した森林の整備の促進を

あまの ひろし
天野 弘議員が問う
森林経営管理制度の取組は



答弁 来年度から本制度に取り組む方針

- Q** 森林環境譲与税を財源とした森林経営管理制度による小規模・所有者不明の森林整備が全国で始まっている。当市の取組は。
- A** 林業経営体の不足もあり、現在まで取り組んでいない。
- Q** 今後、どう取り組んでいくのか。
- A** 県やアドバイザーの意見、先進事例を収集し方向性を決定する。
- Q** 県民税による森の力再生事業が2期目最終年度を迎えている。継続についての当市の考えは。
- A** 継続を強く要望していく。
- Q** 河川や道路沿いの支障木除去など災害予防につながる里山整備は。
- A** 里山整備の必要性は認識している。各事業の採択要件の緩和を国・県に要望を求めている。
- Q** 自伐・自伐型林業の把握は。
- A** 個々は把握していないが、NPO法人は把握しており補助金を交付している。

サービス残業



職員の健康を守り、働きがいを高めることは、質の高い市民サービスの提供に不可欠

もちづき ふみひろ
望月 史彦議員が問う
サービス残業の常態化について



【答弁】 根絶に向けて、労務管理を徹底していく

Q サービス残業の常態化と職員の疲弊について、その実態把握、構造的な原因、具体的な対策は。

A サービス残業の主な要因は労務管理不足と認識している。DX推進による業務削減や管理職研修を実施し対策を進める。また内部通報窓口や職員相談員を配置し、職員の相談体制を整備している。

Q サービス残業への市長の見解は。

A サービス残業の根絶は重要な課題であり、管理職による労務管理の徹底と業務の効率化・簡素化に努め根絶に向け全庁に周知徹底していく。

金谷公民館の運営業務について

Q 運営業務の見直し期限が迫っているが、令和8年度以降の運営方針は。

A 令和8年度当初予算の編成が始まるまでには、決定したい。

稼ぐ観光



市の観光資源と市の強みを把握し、強化していくことが重要

みむら たかひさ
三村 隆久議員が問う
市長が描く「稼ぐ観光」とは



【答弁】 交流人口とインバウンドで税収と雇用を創る

Q 島田市観光戦略プランが策定されたことにより、どのような効果があったのか。

A 宿泊客数、国内認知度、市民意識調査結果の3項目は、目標達成。観光交流客数、観光消費額、再来訪意向の3項目については、目標に対して未達成となっている状況である。

Q 観光交流客数、観光消費額を増やすための今後の対策を伺う。

A 情報を効果的、効率的に発信して、認知度を獲得していくことが交流客数増加につながる。消費単価が高くなる宿泊者を増やすことで観光消費額を増やす。

Q 「稼ぐ観光」とは。

A 地域資源や歴史文化資源などを活用して魅力的な観光商品をつくっていく。その上で、積極的な情報発信によって、本市の認知度を高めて観光客を呼び込むこと。

部活の地域移行



令和9年夏以降の移行を目指し、それぞれの組織が連携を密にし、進めてほしい

たき よしのぶ
瀧 好伸議員が問う
部活動の地域移行の進捗状況は



【答弁】 島田市の地域移行は着実に進んでいる

Q 今後の課題は何か。

A 各課題の解決策を検討する庁内体制の整備と考えている。

Q その庁内体制の整備はどのように考えているか。

A 橋渡しを担う総括コーディネーターや専門部署を設置し、適切な推進体制を整備することが重要と考えている。

島田大祭について

Q 島田大祭をどうサポートするか。

A 島田大祭保存振興会との信頼を築き、認知度向上のため観光協会とともに情報発信やプロモーション活動などでサポートしていく。

Q 具体的なPR活動とは。

A 観光協会と連携し、大祭ポスターの作成や市内外における観光イベントでの大祭開催のプロモーションを実施している。

茶業の振興



茶業は本市の経済のエンジンと言える
V字回復を目指し具体的な支援策の実施

なかだ あきら

仲田 明 議員が問う

荒茶生産量で首位陥落。対策は



答弁 消費者の好みの変化に対応できるよう支援

- Q** 茶業振興に向けた取組姿勢は。
- A** 海外輸出や抹茶の需要拡大を好機ととらえ、国や県の補助事業を有効活用しつつ、本市にあった茶業振興に取り組んでいきたい。
- Q** 煎茶から抹茶へ消費者の好みは変化しているが、具体的支援策は。
- A** 抹茶の需要拡大で、碾茶の生産が増加している。健康志向の高まりにより有機茶需要も増加。戦略的茶改植推進事業を支援していく。
- Q** 海外輸出に向けた取組は。
- A** 有機JASやGAPの認証取得経費や残留農薬検査経費の一部を支援している。県では静岡茶海外戦略展開支援事業として販路開拓や生産体制の強化に向けた支援を行っているので連携していく。
- Q** 荒廃農地の状況は。
- A** 3月末時点の集計で約92・3ヘクタール、これは農地全体の約2・4%と聞いている。

第3次総合計画



ふるさと納税は先進事例を参考にPR強化により増収させ、人口減対策へ配分を

かわい としや

川合 利也 議員が問う

意欲的な総合計画目標設定は



答弁 ふるさと納税を意欲的に。歳出改革も実施

- Q** 当市の経常収支比率は低水準だが、この懸念点や課題は何か。
- A** 公共施設改修など投資的事業に充てる財源に懸念がある。ふるさと納税などで歳入を確保し、選択と集中による歳出改革を推進する。
- Q** ふるさと納税の推進による寄附金増収策と目標金額は。
- A** 他市町の先進事例も参考に、PRに強化注力し、本年度の目標を達成し、10億円を短期目標とする。
- Q** ふるさと納税の推進で増加させた歳入を移住・定住促進事業に集中配分することを提言したいが。
- A** 配分については、総合的かつ慎重な検討が必要と考えている。
- Q** コンパクトプラスネットワーク政策で、災害リスクのある中山間地域住民の移住実施計画はあるか。
- A** 実施計画は策定していない。今後「居住誘導区域と権利設定等促進事業」の当市適用を検討する。

子育て勤労者支援



安心して子育てできる、安心して働くことができる島田市を目指してほしい

うちだ おさむ

内田 修 議員が問う

今後の病児保育施設の展開は



答弁 少子化等考慮すると他地域への設置は難しい

- Q** 病児保育の問題・課題は。
- A** 利用者数の予測が困難なこと、予約後の当日キャンセルが多い。
- Q** 地域ごとの利用状況は。
- A** 旧島田、金谷地区の利用者が多く、六合、初倉地区が少ない。
- Q** 市民ニーズの把握をしているか。
- A** ニーズや認知度の把握に努めている。
- 消防団員数の減少について**
- Q** 近隣市町及び当市の充足率は。
- A** 藤枝市89・1%、焼津市83・6%、島田市は83・1%である。
- Q** 各分団の必要人数に対する充足率は。
- A** 上位から第4分団119%、第10分団105%、第3分団94%。下位は第14分団57%、第1分団60%、第8分団62%となっている。

地域づくり推進



文化芸術で地域資源を束ね、大井川流域から島田の未来を創る挑戦へ

おおいし ある ま 大石 歩真議員が問う まちなか(JR島田駅前)の役割は



答弁 市の「玄関口」の役割と賑わい創出の場

- Q** 空き店舗調査、地域おこし協力隊の活用は。
- A** 正確な把握は難しい。協力隊は活用の可能性を探る。
- Q** おびサポ駅前移転の活用方針は。
- A** まちなか回遊を促し、補助金で出店を支援。
- Q** 地域との対話の場の必要性は。
- A** 重要性を認識。仕組みづくりを検討していきたい。
- アートによる大井川振興モデル**
- Q** 文化政策全体の方針は。
- A** 文化は創造性と人のつながりを育む。継続性と自立性を支援。
- Q** 「文化芸術推進計画」に当事者の声を反映しないか。
- A** 意見を聞く機会を設ける。
- Q** 大井川を文化芸術の拠点とする戦略的モデルは。
- A** 文化と観光・経済の連携を調査。

命を守る



市民が自分の健康を自分で守るために関心を持つことが大切

いわさき よし み 岩崎 好美議員が問う 胃がん検診の胃カメラ導入は



答弁 医師会や委託先と導入について研究していく

- Q** 指定先以外の検診も助成対象にして欲しいとの声があるがどうか。
- A** 現状助成はないため、検診結果を持ってかかりつけ医に相談を。
- Q** 女性の子宮頸がん、乳がん検診の受診率向上のための取組は。
- A** 21歳で子宮頸がん、41歳で乳がん検診の無料クーポン券を送付。2日間のレディースデーの設定。委託先の医療機関に女性医師による検診が可能な日がある。
- Q** 自覚症状が乏しい肝炎。早期の発見と治療に繋げたい。
- A** 節目年齢での無料検診を促す。
- Q** 市立総合医療センターと当局が一体となり運営に携わり支える認識が市長にあるか。
- A** 開設者として安定的な運営に努める。
- Q** 労働環境の改善はしているか。
- A** 病院全体の業務改善、職員の健康管理に取り組んでいる。

公共交通



空港や鉄道、バス、タクシーなどの多様な公共交通で移動手段の確保が必要

まつもと あきら 松本 晃議員が問う 観光で稼ぐまちの実現は



答弁 利便性の高い交通手段の整備も必要

- Q** 観光向け循環型路線の状況は。
- A** まだ検討段階。島田市観光協会と調査を進めているところ。地域住民の移動手段として利用できるかなどが課題と認識している。
- Q** まちなかで観光バスが駐車できる環境を整備しているか。
- A** 行政として場所を用意することは難しい。民間の事業活動の中で対応いただいている。
- Q** 新駅設置に関して、ほかの自治体の調査研究などはしているか。
- A** 東海道新幹線静岡岡空港駅設置期成同盟会をはじめ県、市でも行っていない。
- Q** 空港周辺地域の地域振興について、これまでの取組は。
- A** 令和6年度までの累計で事業数延べ417事業、事業費ベースで約140億円、県の補助金45億円を道路改良、コミュニティ整備、農業振興事業などに活用。

市からの主な報告事項

厚生教育
常任委員会

産後ママのデイサービス 湯ったり♨ママケア

産後の疲れた身体をリフレッシュし、前向きに子育てに向き合えるよう、子育て中の母親がホッと一休みできる時間の提供と子育ての相談やママ同士のおしゃべりの場を用意し、子育ての孤立を防止することを目的とする。実施会場は田代の郷温泉及び川根温泉。

利用イメージとしては、午前10時に受付を開始、交流、昼食、休憩タイムを通じて、午後3時を終了予定としている。



内容

- 母親と子どもの交流と親子のふれあいあそび
- 専門スタッフによる育児相談
- 休憩タイム（入浴・食事・昼寝など）

対象者・参加費

- 産後1ヵ月～4ヵ月の赤ちゃん^{うっ}と母親
- 無料（別途、食事代などは自己負担）

Q

対象者を産後1ヵ月～4ヵ月の赤ちゃんとその母親にした理由は。

A

一般的に上記の期間が産後鬱^{うっ}のピークと言われている。その予防に寄与するため。

経済建設
常任委員会

島田市LINEクーポン事業

エネルギー価格の上昇や原材料などを含む物価高騰の影響を受けている一般家庭及び市内中小企業者・小規模事業者等に対する経済支援を目的としている。

割引率の大きいクーポンを信することで、消費者の家計を支援しつつ、消費意欲を喚起することで、市内中小企業者・小規模事業者等の売上支援につなげていく。

対象事業者の応募期間は令和7年8月7日から8月31日まで。クーポン利用期間は、10月13日から12月14日までを予定している。

前回までのクーポンの表示方法を変更し、各店舗に掲出するQRコードをスマートフォンで読み取り、クーポンを呼び出す仕組みとする。これにより、利用者の利便性が向上するとともに、事業者も利用件数を把握する手間が省略される。

Q

クーポン利用期間中に、価格を上げている店舗があるが、宣誓書などで対策はできないか。

A

どこまで制限できるかというところもあるが、価格設定に関しては、注意喚起をしていきたいと考えている。

大阪・関西万博「地方創生SDGs」出展

島田市緑茶化計画を旗印としたシティプロモーションの取組を全国さらには世界に発信することで、本市の認知度向上を図り、交流人口の増加や地域産業の活性化につなげることを目的としている。

出展内容は、島田市緑茶化計画をコンセプトとした空間を演出し、本物の茶の木の展示や茶もみ工程のアトラクション「茶もみFACTORY」などによりお茶の魅力を発信するとともに、動画の放映やチラシの配付、緑茶化計画関連商品の販売を行った。

波及効果として、37件のメディア媒体に掲載され、クーポン券（大井川であそぼうけん）は約2,000枚配布した。そのほか、アンケート結果（159件）では、9割を超える方が「島田市に行ってみたい」と回答してくれている。



出展期間：令和7年5月28日から6月1日まで

来場者数：約8,000人

売 上 額：279,100円

Q

出展後の費用対効果の検証や、島田市の認知度向上などどのように調査していくのか。

A

毎年度3月に定期的に行っている認知度調査のほか、万博で配布した専用のクーポン券（大井川であそぼうけん）の利用状況などにより、誘客効果を測っていく。

本会議・常任委員会などの議員出欠状況

令和7年6月定例会期中の本会議及び委員会などへの出欠状況を記載しています。

「○」は出席を、「△」は遅参・早退等を、「×」は欠席を、「－」は該当しないことを表しています。

（議席順）

開催日	内 容	三村	横山	瀧	曾根	石川	井上	天野	横田	川合	大関	四ツ	望月	内田	清水	松本	仲田	大石	青山	岩崎	八木
		隆久	香理	好伸	達裕	晋太郎	篤	弘	川真人	利也	衣世	恵	史彦	修	唯史	晃	明	歩真	真虎	好美	伸雄
		清流の風							輝く島田	公明党島田市議会	日本共産党島田市議団	創造島田	(無会派)								
6月12日	本会議（初日・議会構成）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月13日	議会運営委員会・議員連絡会・全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月19日	本会議（初日）・議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月27日	本会議（一般質問 1 日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月30日	本会議（一般質問 2 日目）・議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
7月1日	本会議（一般質問 3 日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月3日	本会議（議案質疑）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月4日	常任委員会（厚生教育・経済建設）	○	—	○	○	○	—	○	—	—	○	○	—	○	—	—	○	○	○	○	○
7月7日	常任委員会（総務生活）	—	○	—	—	—	○	—	○	○	—	—	○	—	○	○	—	—	—	—	—
7月9日	予算決算特別委員会・広報広聴特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
7月16日	議会運営委員会・広報広聴特別委員会	—	○	○	○	—	○	○	—	○	—	○	—	○	—	—	—	○	—	—	○
7月17日	本会議（最終日）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

全議員を対象とした議員研修を実施！

株式会社廣瀬行政研究所の廣瀬氏をお招きし、「議員が守るべき政治倫理」についてご講義いただきました。日本国憲法や地方自治法などの法規定の確認から、議員としての心構えまでご教示いただきました。他市町村議会での事例や判例が中心の講義内容であったため、議員も自分ごとと捉え、真摯に受講することができました。

そのほか、全国の地方議会で広がりを見せている議員によるハラスメント防止条例や、SNSの使用方法についても触れていたが、島田市議会においても、向き合わなければいけない事案であると考えさせられました。今回の研修の内容については、議員間で認識を共有し、今後の議員・議会活動に必ず活かします。島田市議会では、このような研修を定期的の実施し、議員力の向上に取り組んでいます。



島田市役所本庁舎第2・第3委員会室にて

島田第一小学校



新しい校舎でいろいろな配慮がされている。バリアフリー、LGBT、外観、校庭、統合による思い出等。子ども達の学び活動の場として十分な施設でした。

田代ゆめ・みらいパーク



たくさんの遊具、広い芝生広場があり、子供達だけでなく家族でも楽しめる公園。無料施設の為、遊具等設備のメンテナンス費用の確保に課題がある。

市内施設の見学及び研修を実施！

新人議員研修の一環として、市内の施設を見学し、現場の「いま」について学びました。ここでは、研修を行った一部の施設について掲載します。

川根温泉 ふれあいの泉



平成10年にオープンしたがメンテナンスがしっかりされている。県内トップクラスの湯量を誇る温泉。何度も訪れたいくなるような施設でした。



島田市面積315.70km²

TOURIST INFORMATION おおいなび



島田市の観光に関する情報が集積されており、気になる情報を選択できる。KADODE OOIGAWAと連携し島田市の観光拠点となっている。

蓬莱橋 897.4茶屋



蓬莱橋と897.4茶屋がバランスのとれた施設になっている。さらに観光客が楽しむことができる施設があれば、観光拠点として賑わうと思う。

新たな挑戦

—なぜ私は議員を

志したのか—

令和7年5月、島田市議会に9人の新人議員が誕生しました。選挙運動から息つく間もなくはじまった6月定例会。市民からの負託を受け、慣れない環境の中で、不安を持ちつつも、日々全力で活動に取り組んでいます。私たちはなぜ、議員を志したのか。今号では、その想いを特集しました。



かわい としや
川合 利也議員

差別やいじめを受けるなど弱い立場・不幸な境遇の人たちが、可哀そうでなかった。彼らを守るため、法律を駆使する仕事を志すも、結局断念。以来、何も出来ないという悔しさに苛まれてきた。年月が流れ、幸運にも市議会議員選挙出馬という話があった。議員という仕事で彼らに少しでも希望の光を送れるかもしれないと思い、議員を志した。



み むら たかひさ
三村 隆久議員

理想の地方を創りたいからです。その地に生まれると一度も住所を移すことなく理想の進学ができて、理想の就職や起業等のチャレンジができて、理想の安心した老後を送れる、そんな地方を創りたい。今回市議会議員選挙に当選いたしました。島田市の行政が少しでもその理想に近づくよう調整していきたい。それが私の「志」です。



もちづき ふみひこ
望月 史彦議員

故郷である島田市の住みやすいまちづくりに貢献したいという強い思いが私の原動力です。リニア中央新幹線や浜岡原発といった課題から故郷を守りつつ、特に子育て世代が安心して暮らせる環境を整えることに尽力します。地域の活力を高め、将来にわたって笑顔があふれる島田市を実現するため、全力を尽くしてまいります。



たき よしのぶ
瀧 好伸議員

「地域に寄り添い、思いやりをもって！」退職を機に、地域への貢献やボランティア活動等を積極的に行うと決めていた中で、地元の自治会の後押しもあり、市議会議員に立候補させていただきました。次の世代を担う子どもたちは、将来のこの島田市をリードしていく存在です。長年の教員生活の経験を生かし「教育の充実」を実現させたいと考えています。子供たちを地域で見守り育てていきましょう。



いわさき よし み
岩崎 好美議員

私は長年、看護師として限られた人々に身を投じてきました。コロナ禍の少し前から広いフィールドで自分を生かしたいと思い、地域の中で日常生活を送っている人の役に立つ仕事は何かと度々考えていました。その中で、一市民としての立場で議員になり、多くの皆さんと力を合わせて島田市の未来を守りたいと思ったからです。



なか だ あきら
中田 明議員

学生時代からふるさとの経済、産業の発展、国際化に貢献したいとの想いがあり、地元の銀行に就職しました。県外、海外での勤務の後、50歳で地元に戻りました。個人、一企業一団体の努力だけでは解決困難な課題が多くあります。政治の世界に飛び込み民間の視点を活かして、解決の道を探りたいと思い挑戦しました。



うち だ おさむ
内田 修議員

「人の役に立ちたい」という私の性分と、労働組合の執行委員で学んだ社会公益の必要性を知ったことで、自治会活動を通して知った地域の方々の困り事や、勤労者の仲間の困り事を改善して助けたいと思ったことと、島田市をもっと振興させたいとの思いから、議員でなくてはできないことをやりたかったため。



はじめての定例会を終えた新人議員達。それぞれの思う「議員・議会のあるべき姿」に向かって、誠心誠意取り組んでまいります。



おおし ある ま
大石 歩真議員

約15年間、地域づくりの現場で活動を重ねるなかで、「声を届ける力」が未来を動かすと実感しました。子どもたちがこのまちを誇れるように、市民の想いが市政に届くように。私は、議員という新たな挑戦を決意しました。変化を恐れず、情熱を持って一歩ずつ進む。言葉だけで終わらせない、行動する議員を目指します。



まつもと あきら
松本 晃議員

島田で生まれ育ち、学校や部活、地域でのお祭りなど楽しい子ども時代を過ごしました。当時は気が付きませんでしたが、多くの大人の皆さんが地域の子どものことを思い、この素晴らしい環境を与えてくださっていました。時を経て、この島田をよりよい形にして次の世代に受け渡すのが役割だと思い、新たな道を選びました。

しまだ議会だよりの愛称を募集します！

平成17年7月に創刊した、「しまだ議会だより」は、令和8年2月発行号で100号を迎えます。この節目に、より親しみやすいものとするため、広く「愛称」を募集します。令和7年11月発行号（第99号）で広報広聴特別委員会が選定した候補を発表し、皆様からの投票を参考に、第100号で採用された愛称を発表します。採用者にはお礼の品（図書カード5,000円分）を贈呈します！

右に掲載しておりますQRコードからご応募ください。

なお、令和7年10月17日(金)を締め切りとさせていただきます。



● 応募条件 ●

- ・市内在住・在勤・通学をしている人で、未発表の作品であること
- ・1人につき、1作品の応募とすること
- ・採用された場合に、インタビューに応じていただけること

● 採用基準 ●

- ・島田市の自然、風土、歴史、文化などを表現していること
- ・明るく、親しみやすく、読みやすいこと
- ・議会や議員を連想させるものであること

編集後記



議会だよりをお読みいただきありがとうございます。今号から、新たな体制で議会だよりの編集作業を進めています。

今号は、議員にスポットを当てた内容としてみましたがどうでしたでしょうか。今年度は皆様が読んでみたいと思うような表紙について、調査及び研究を進めていきます。ご意見等がございましたらご遠慮なくお申し付けください。

そのほか、愛称の募集を開始していますので、ご協力いただけますと幸いです。1年間よろしく願いいたします。

広報広聴特別委員会

- 【委員長】井上 篤
 【副委員長】大石 歩真
 【委員】瀧 好伸、川合 利也
 内田 修、八木 伸雄

9月定例会のお知らせ

議会を聴きに行こう！議会をオンラインで見よう！

本会議・委員会は、誰でも傍聴できます。市役所4階の議会事務局までお越しください。

インターネット中継もどうぞ

本会議（水色のラインで示された日）は島田市議会ホームページの「会議の映像配信」でもご覧いただけます。



日	月	火	水	木	金	土
8/24	25	26	27	28	29	30
			議会運営委員会(※) 本会議 (初日)			
31	9/1	2	3	4	5	6
				本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
7	8	9	10	11	12	13
	本会議 (一般質問)		本会議 (議案質疑)	予算決算特別委員会 厚生教育分科会・ 常任委員会	予算決算特別委員会 経済建設分科会・ 常任委員会	
14	15	16	17	18	19	20
	敬老の日	予算決算特別委員会 総務生活分科会・ 常任委員会	常任委員会・ 分科会予備日		予算・決算 特別委員会	
21	22	23	24	25	26	27
		秋分の日				
28	29	30	10/1	2	3	4
	議会運営 委員会	本会議 (最終日)				

開始時間 午前9時30分(※は午前9時)

日程は変更となる場合があります。最新の情報は、ホームページまたは電話にてお問い合わせください。